

いわた認知症ハンドブックを刷新！

～認知症になっても安心して暮らせるまちを目指して～

【経緯】

高齢者人口の増加とともに認知症高齢者が年々増加傾向にあります。

認知症高齢者やその家族が住みなれた地域で安心して暮らしていくため「認知症ガイドブックを刷新」しました。

また、「認知症サポーター養成講座」や認知症高齢者等を事前に登録する「見守りオレンジシール」など、継続して早期発見対策や地域での日常の見守りを推進します。

【いわた認知症ハンドブックのリニューアル】

認知症の方の生活機能障害の進行に併せて、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受けることができるのか掲載し普及啓発をしてきました。

平成 27 年度に 2,500 部作成、28 年度に 1,000 部増刷してきましたが、この度、新たに刷新し 3,000 部を作成。市内の医療機関や交流センターに配架するだけでなく、地域包括支援センターでの認知症に関する相談の際に活用していきます。（民生委員にも配布）

「リニューアルの主な内容」

- ・認知症の種類と症状についての説明
- ・認知症チェックリスト
- ・認知症の本人や家族の思い などを追加

【認知症サポーター養成講座、今年も開催中】

平成 29 年度に市役所では全職員（事務職員、消防職員、幼稚園職員、保育園職員など）を対象に講座を実施し、認知症への理解と、業務中の認知症高齢者との接し方などについて学んできました。今年度も、昨年度につづき新規採用職員が講座を受講し、認知症についての理解を深めています。

※市内では、平成 31 年 3 月末時点で 16,023 人が受講

【見守りオレンジシール登録者 117 人】

平成 28 年度から開始した認知症高齢者の事前登録制度で、平成 31 年 4 月末時点で 117 人が登録。地域包括支援センターや警察署、必要に応じて民生委員などと情報共有し日頃の見守りや、行方不明などの検索時に活用されています。

磐田警察署からは、この見守りオレンジシールにより発見したケースがあったとの報告をもらっています。（件数不明）